

まちだ納税貯蓄組合連合会 優秀賞

『学びと税金』

町田市立木曽中学校 3学年 竹下 理子

九年間で一千二十万円。小学校、中学校に通っている間に使われる一人当たりの税金だ。毎年渡される教科書、先生達の給料、実験や授業で使う機材（顕微鏡、パソコン、楽器等）、校舎や什器の修理等に税金が使われていることは知っていたが、多額の税金が使われていることに、とても驚いた。

そこで私は、どのような税金に支えられて学校へ通うことができているのか？気になったので、調べた。

教育費は、国税と地方税で賄われている。私が住む東京都では、教科書は全て国税で、先生達の給料、実験や授業で使う機材は国税と地方税の両方で、校舎や什器の修理等は全て地方税で賄われている。

地方税は、私の住んでいる地域の人が納めた税金を財源の一部としていて、国税は全国の人が納めた税金を財源の一部としている。地方税は住民税、国税は所得税と法人税が、財源の多くを占めている。住民税と所得税は、働く人が給料から納めたもので、法人税は会社が納めたものである。会ったことがない、話したことがない人が働いて納めた税金で、また、見知らぬ会社が納めた税金で私は学校へ通い、学ぶことができている。その有難みについて、改めて考

えさせられた。

納税をしてくれている人達に対して、私は恥ずかしくない行動ができていただろうか？

・教科書は、大切に使用していただろうか？（落書きをしてしまった）。

・学校の機材や楽器は、丁寧に扱っていただろうか？（自分の物ではないので少し雑に扱ってしまうことがあった）。

・エアコンや照明の節電はできていただろうか？（他人任せにしたことがあった）。

振り返ると色々反省することがあった。

この作文を作成するに際して、父に調べたこと、思ったことについて話をした。父からは、「教育は個人だけではなく、日本の将来への投資でもある。投資をしてくれた全ての納税者に対して恥ずかしくないようにしっかりと勉強すること。そして、将来は自分のためだけではなく、世の中のためにも働いて、しっかりと恩返しをすること」のアドバイスをもらった。

来年から、私は高校生になる。

公立の高校だけでなく、私立の高校に通う場合も、税金の補助を受ける。どちらの高校に通うにしても、これから数年の間、私は税金に支えられて学校へ通う。これを機に、日本中の色々な人達に支えられていることを忘れずに、高校ではしっかりと勉強したい。そして将来は、未来の子供達を支えられることができる大人になりたいと思う。